

令和3年度 省エネ政策提案型パブリック・ディベートコンテスト(東北) 参加校募集について

東北パブリック・ディベートコンテスト実行委員会、経済産業省東北経済産業局は、東北地域の高等学校、中学校を対象に、第3回省エネ政策提案型パブリック・ディベートコンテスト（以下、第3回大会）を令和4年1月9日（日）にオンラインで開催します。

このたび、第3回大会への参加校を募集しますので、ご案内を申し上げます。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

省エネ政策提案型パブリック・ディベートコンテスト（東北）とは？

「省エネルギーのテーマ（論題）」を切り口に、国や地方自治体が採用すべき新しい政策を、学生の立場から考え、提案し、互いに磨き合うことで、これからの地域社会について議論を深める取組です。

令和元年度に第1回大会を開催し、今回は3回目となります。

過去の試合映像は、
東北経済産業局Webから！

検索 東北経済産業局 省エネディベート

第3回大会について

オンライン
開催

日時 令和4年1月9日（日）9：15～16：00

会場 オンライン開催

対象 東北6県の高等学校、中学校（最大中高各8チームが参加）

試合 高校生の部、中学生の部を設け、2チーム同士で試合（ディベート）を行い、トーナメント方式で優勝を目指します。試合では、一般市民にも聞き取りやすく、互いに省エネルギー政策を提案し、議論し、磨き合い、審判と一緒に考えます。

概要 ①ルール、ガイドライン等に基づき、トーナメント方式で優勝、準優勝を決定します。
②今回から、「省エネ政策提案賞」を選考し、表彰します。

第3回大会の参加校募集について

参加校の募集

- ✓ 期間 令和3年10月29日（金）まで
- ✓ 内容 高等学校、中学校の各8チーム
1チームは引率教員と生徒2～10名
- ✓ 応募 参加申込書を事務局に送付
(メール又はFAX)
- ✓ 出場決定 11月15日（月）に発表予定



主催：東北パブリック・ディベートコンテスト実行委員会、経済産業省東北経済産業局
協力：全国教室ディベート連盟東北支部、一般財団法人省エネルギーセンター東北支部（予定）
後援：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市の各教育委員会（予定）

第3回の大会の全体概要と注意事項

大会は、「政策提案型パブリック・ディベート・ルール」に基づき実施します。ルール、ガイドライン、ワークシート等についてご確認ください、参加をご検討ください。

STEP1 参加校募集（～令和3年10月29日（金））から決定まで

- 申込みが8チームをこえた場合は、「予備審査」で出場チームを決定します。

※申込みが8チーム以内の場合は出場決定となります。

予備審査

- 申込み時の「政策提案の着眼点」に基づく書類審査です。政策検討の着眼点を10段階で審査します。高校生、中学生ならではの斬新な視点や着眼点であること等を評価します。
- 出場校は以下で決定します。
 - ① 申込みのあった学校が所在する県で、少なくとも1校は出場チームとします。
 - ② まず、各県で点数の最上位チームを出場チームとします。
 - ③ つぎに、②を除いたチームの点数の上位から、②と併せて最大8チームを出場チームとします。
- 審査結果は、各チームに通知します。また、出場が決定した場合、当日までに提案内容を改善、改良することは妨げません。

過去大会のお申込み状況

	第1回大会	第2回大会
高等学校	8チーム	17チーム
中学校	6チーム	8チーム

STEP2 出場チーム決定から大会当日まで

- 出場チームの皆様は、大会当日に向けてご準備ください。
- 出場チームには、大会マニュアル、オンラインマニュアル等の必要書類を送付いたします。
- オンラインに必要な機器（パソコン等）や通信環境（Wi-Fi等）は、原則、参加校にご準備いただきます。また、事前に事務局から参加校別に、アプリケーションの説明やオンライン接続のテストをさせていただき、通信環境の調整をいたします。なお、使用するアプリケーションは、昨年度第2回大会と同様に「Cisco Webex meetings」を想定しています。
- 12月中旬に、トーナメントの組み合わせ抽選会（オンライン）を行います。
- 大会3日前（1月6日（木））までに、提案予定の省エネ政策の概要をご提出いただく予定です。
- 大会前日（1月8日（土））に、希望する出場チームに最終接続テストを実施いたします。

STEP3 大会当日（令和4年1月9日（日））

- 全出場チームは、第1試合、第2試合は必ずご参加いただきます。
- 決勝戦は、全出場チームに観戦いただけます。
- 今回から新たに「省エネ政策提案賞」を選考し、表彰します。

省エネ政策提案賞

- 次世代を担う中高生が、従来と異なる斬新な着眼点で提案した政策を表彰します。
- 本賞は、第1試合、第2試合の内容を踏まえ、審査で中学生の部、高校生の部から各1チームを選考します。
- なお、選考の対象に決勝進出の2チームは含まない予定です。

当日のスケジュール（予定）

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	開会式
10:00	第1試合
11:35	昼食
12:35	第2試合
14:25	決勝戦
15:35	閉会式
16:00	終了

「積極的に環境負荷の低い製品やサービスを選択する」ため、
消費者の行動変容を促す政策提案を求めます！

1. 2050年を見据えたカーボンニュートラル

持続可能な地球環境のため、二酸化炭素等を削減する計画が世界で加速しています。カーボンニュートラルです。日本も2050年の達成を表明しました。まず、2030年度までに温室効果ガスを46%削減（2013年度比）します。そのため、再生可能エネルギー導入のほか、エネルギー消費量で約23%の削減を試算しています。私たちの生活の約1／4に相当する省エネルギーは10年後に向けた大きな挑戦です。これをどのように達成すればよいでしょうか。

2. 私たちの行動も変化が求められる時代に

日頃、私たちが製品やサービスを購入しようと選ぶときは、何を重視するでしょうか？安全、性能、価格……。これと同じ基準で、環境に優しい、消費エネルギーが少ないなどで選ぶでしょうか？製品に貼られた様々なラベルを意識するでしょうか？こうした基準を優先する消費行動はまだまだ限定的ですが、言い換えれば、大きな省エネルギーへの潜在力があると言えます。2020年2月の消費者庁「倫理的消費（エシカル消費）」に関する調査報告書では、「環境に配慮した商品やサービスを選択する」と回答した消費者の割合は約35%です。また、特に家電や贅沢品は、この割合が下がるとされています。

3. 政策を求める問い

そこで、今回は、消費者が「積極的に環境負荷の低い製品やサービスを選択する」ために必要な行動変容を促すように、日本政府や地方自治体等が採用すべき政策提案を求めます。まず、いまの生活や社会の現状から、1で述べた目標達成に特に重要と思われるポイントや課題に焦点を当ててください。次に、その現状を変更しうる政策を構想し、日本全体に響く魅力的なフレーズを付けて、政策の内容と実現までのイメージを提案してください。1人1人の消費行動に、これまでなかった「新しい選択肢」が芽生える斬新な政策アイデアを求めます！

提案された政策が実現した場合に期待される効果の例

日本のエネルギー事情への貢献

日本の社会は、多くの化石燃料等のエネルギー資源を輸入し、消費することで支えられています。行動変容による省エネの進展は、日本のエネルギー自給率を高め、地球環境に貢献することにもつながります。

（現在の主な指標）

- ※日本のエネルギー自給率：約12%
- ※日本の化石燃料依存度：約86%
- ※日本のエネルギー消費量：世界第5位
- ※日本の二酸化炭素排出量：世界第5位

製品・サービスを提供する企業・産業を支える

省エネなどの優れた性能を持つ製品の企画・開発には、企業やそこで働く多くの人の思いが込められています。仮に良い製品であっても、消費者が選択しなければ、売れることも、開発することも出来ません。

日本全体の行動変容につながる提案は、省エネに資する製品やサービスを生み出そうとする企業の新しい道筋や指針となり、これらが大きな潮流となって、持続可能な日本の産業・経済の新たな発展につながる一助になることが期待されます。

1. パブリック・ディベート実践資料（①ルール ②ガイドライン ③ワークシート）

https://www.tohoku.meti.go.jp/s_shigen_ene/public_debate.html

※ ワークシートのWord版は、東北経済産業局WEBサイトからダウンロードできます。

2. 事前学習の参考サイト

（1）日本のエネルギーについて

①	日本のエネルギー 2020 (パンフレット)	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/about/pamphlet/energy2020/
②	エネルギーのいろいろな記事 (スペシャルコンテンツ)	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/ondankashoene/
③	エネルギーの学習・情報	東北エネルギー懇談会	https://www.t-enecon.com/

（2）省エネ、消費者行動について

①	スマートライフおすすめ BOOK (エネルギーの基礎知識含む)	(一財) 家電製品協会	https://shouene-kaden2.net/recommend_book/
②	省エネポータルサイト	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/index.html
③	統一省エネラベル (省エネラベリング制度)	資源エネルギー庁	https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/replacement/enelabel/
④	クールチョイス	環境省	https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/
⑤	「倫理的消費」に関する消費者意識調査 (令和元年度調査報告書をご覧ください)	消費者庁	https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/investigation/

（3）その他の参考情報

①	日本のエネルギー消費量等 の統計データ	資源エネルギー庁 総合エネルギー統計	https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/
②	2030 年に向けた省エネの目標 (資料 5 の P70、P75 など) ※エネルギー基本計画の検討状況	資源エネルギー庁 基本政策分科会	https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/2021/048/

3. 省エネの説明会（無料）

省エネ説明会の講師を学校に無料で派遣します。省エネルギーに関する事前学習の一環として、ご検討ください。
ご活用を希望される場合は、事務局までメール又はFAXでご連絡ください。資料を送ります。

○講演時間：1 時間程度（30分以上であれば対応可能。ご相談ください）

○講演内容：家庭での省エネ実践のための基本講座

本大会の参加申込書等を通じて取得する個人情報（氏名、学校名、学年、担当教科、引率者の連絡先）および肖像権に関しては、以下の通り対応させていただきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- （１）大会運営のために必要な連絡先管理、表彰状作成のデータ処理に利用します
- （２）大会プログラム冊子に掲載されます
- （３）大会内での告知・アナウンス等により紹介されることがあります
- （４）大会関連のWebサイト（ホームページ・印刷物等）に掲載されることがあります

2. 競技結果（記録）等の取り扱い

- （１）主催者が設置する大会本部を通じて公開されます
- （２）報道機関等で、新聞・雑誌および関連Webサイトなどで公開されることがあります

3. 競技風景の撮影・録画等の取り扱い

- （１）報道機関などの各団体により、競技風景の映像や写真が、中継・録画放映・インターネット配信、その他の媒体などで紹介されることがあります
- （２）主催者によって大会終了後に映像資料として編集し、DVDなどで関係者に配布されることやWebサイト（ホームページ等）に掲載されることがあります
- （３）主催者に認められた大会参加選手の関係者やオンライン会場来場者が、競技の模様を撮影することがあります

4. 大会本部としての対応

- （１）取得した個人情報は、本人の承諾なく上記利用目的以外に使用することはありません
- （２）参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。もし、個人の映像および画像の利用をご承諾いただけない場合は、事務局までご連絡ください
- （３）個人情報、肖像の掲載または公開に関するご質問は、下記記載のお問合せ先（事務局）までご連絡ください

お問合せ

事務局（お申込み）
（お問合せ）

第3回省エネ政策提案型パブリック・ディベートコンテスト(東北)事務局
(株式会社ピーツーカンパニー) 担当: 和田、弘田

TEL:03-3473-7871 / FAX:03-3473-7870

E-mail:wada@p2company.co.jp

主催者

経済産業省 東北経済産業局 資源エネルギー環境課 総合エネルギー広報室
担当: 照沼、澤谷

TEL:022-221-4927 / E-mail:thk-shiekan@meti.go.jp